

# 悠游たより

第274号 発行 新居浜生涯学習大学  
令和8年 〒792-0023

1月

新居浜市繁本町 8-65  
電話・FAX(0897) 33-2991  
メール n-daigaku@city.niihama.lg.jp



## 頌春

今年も愉しく学び合いましょう！

新年明けましておめでとうございます。昨年も皆様の学びのチカラに支えられ、様々な講座が開催できましたこと心より感謝申し上げます。今年も、皆様とご一緒にウェルビーイングの実現につながる生涯学習大学を盛り上げて参りましょう。ちょうど今年は昭和 100 年の節目の年を迎えます。新たな時代を迎えるにあたり、様々な記念イベントも開催される予定が組まれているようです。愉しい一年になることを願いたいと思います。

今年の干支は「丙午(ひのえうま)」です。馬は古くから人々の生活に密接に関わり、「速さ」「情熱」「自由」を象徴する存在として敬われてきました。それ故「変化」を前向きに捉え、強い意志を持って行動する良い機会になる年と云われます。その一方で今年は 9 年に 1 度の八方塞がりの年でもあるようです。運気的にはどの方向に進んでもうまくいかない年でもあるそうです。まさに疾走する馬に絶妙の手綱さばきが求められる、大胆かつ慎重な行動が求められる年回りになりそうです。

「丙午」の年というと「丙午生まれの女性は気性が激しすぎて夫を不幸にする。」という迷信があります。この現象は日本独自のものです。中国には古来「丙午」と「丁未(ひのとひつじ)」の年には災害が多いという言い伝えがあり、それが江戸中期に日本に伝わりました。折しもその頃、江戸本郷の八百屋の娘お七が、天和の大火で焼き出された際に、避難したお寺の小姓と恋仲になり、再会したい一心で放火に及んだ話が井原 西鶴の人形淨瑠璃「好色五人女」などを通じて拡がります。たまたまこのお七が丙午生まれだったということでこの迷信が生まれたそうです。ちなみに、坂本 冬美の演歌「夜桜お七」はこの話をモチーフに出来た曲ですね。私は知らなかったので、みんなに笑われました。

しかしながら江戸から明治までの丙午の年にはさほど大きな出生数の減少は見られませんでした。明治39年も約4%の減少でした。日露戦争直後で世はまさに高揚の時代だったからかもしれません。しかし、それが、昭和41年は25%の大きな人口減、前年の182万人が136万になりました。たかが迷信でこんな社会変動が生じたことをずっと不思議に思ってきたのですが、先般「ひのえうま」(光文社新書 吉川 徹氏)を読んでその理由が腑に落ちました。

その理由はずばり「社会教育」でした。戦後二十年間は乳幼児死亡率が高かったこともあり、多産の時代が続きました。それが昭和 40 年頃から女性の母体保護を重視する観点(リプロダクティブ・ヘルス&ライツ)からの教育活動が進み、出産コントロールを助産師が先生になって公民館等で指導したそうです。それが功を奏し、婚姻直後の第一子の数こそ減らなかったものの、第二子以降の出産は翌年以降に見送るという行動変化が生まれ、その後は夫婦と子ども 2 人が標準世帯になったようです。ちなみにその頃の生涯未婚率は2%弱でした。それが 2025 年の予測では男性 27.4%、女性 18.9% になっているとのことです。現在の少子化のほんとうの原因是、この頃から進んだ社会の成熟に伴う、多様なライフスタイルの選択にあるのかもしれません。

この本では、令和の丙午は起きないだろうという仮説を立てています。確かに「丙午」のことを騒ぐマスコミもSNSも皆無です。日本独自の根拠なき迷信が消えていくことに拍手を送りたいと思います。 (文責 関)



## 特別講演会のご案内

# 「私たちの力で、 誰ひとり取り残されない学びの社会をつくろう」

日 時 令和8年1月30日（金）  
13:30～15:30  
場 所 ふれあいプラザ（警察署南側）  
2階 第1研修室  
講 師 長野県社会福祉協議会 福澤 信輔 氏  
聴講料 無 料  
資料準備の都合上、参加したい方は  
33-2991までお電話いただければ幸いです。



これまで生涯学習大学では「しょうがいしゃと一緒に」などの講座を通じて、みんなが支え合い、学び合うために必要な事について学んできました。

今回、文部科学省の「学校卒業後における障害者の学びの支援推進協議会」に取組んでいる包摂の新しい学び創造委員会（代表 松山 明子氏）の皆さんと連携して、教育と福祉の重なりを増やしていくことの大切さについて、長野県社会福祉協議会の一員として長年取り組んでこられた福澤 信輔氏をお招きし、講演会を上記のとおり開催する運びとなりました。受講生の皆さんのご参加を心よりお待ちしています。

去年の2月に長野県で開催された障害者の生涯学習コンファレンスに参加した  
「しょうがいしゃと一緒に」の講師の一人 柴崎 あい さんからのメッセージです。

長野市は雪が舞う寒い日だった。メイン会場は固定ではなくパイプ椅子、それが余りにゆつたりと並べられているのに驚いた。車いすの方が「どこにでも座れる」という気遣いと分かり、思わず心がほっこり温かくなる。普段、車いすの友人と出かけると「座っても良い席」が決められている。改めて、自由とはということを考えてしまった。会場には障害者アートが飾られ、軽食や菓子等の販売ブースもあり、あちこちで会話を楽しんでいる。まるで陽だまりの中のマルシェのようだった。

この大会の印象を一言で表現すると、それは「ごちゃまぜの世界」。発表者は、大学、社会福祉協議会、当事者、NPO 等と幅広く、多種多様な活動が紹介された。基調提案やトークセッションで深く頷いたり、メモを取る場面もバラバラ、多様な領域の人人が参加していることが窺えた。

私は仕事柄、福祉関係や教育関係の集まりに参加することが多いが、福祉関係者も分野や対象年齢で分かれ、教育関係者も学校教育と社会教育で分かれる場面が多いと感じてきた。「ごちゃまぜ」になることはほとんどなかった。「問題意識が違う人と話しても…」「同じ立場だから専門性が高まる」という思い込みが、結果として建設的な対話の場を奪ってきたことに気づかされた。

オープニングイベントで金澤 翔子さんが揮毫した書は「共に生きる」だった。私たち一人ひとりに「『共に生きる』とは?」と問いかけているような、力強くのびのびとした金澤さんの書は、この会のあり方そのものだったように思えたのだ。

「生涯学習で楽しく、おいしく、  
知的好奇心も満たされて」



實谷 あおい

義父が亡くなり高齢の母が一人暮らしになったので、10年前に新居浜に来ました。先に夫が生涯学習に参加していて、私はまだ早いかなと思っていましたが、次々に興味ある講座を受けました。最初は別子銅山の講座を受け勉強になり、新居浜に愛着が沸いてきました。それから、ビーズでネックレス、ブローチ、切り絵、ハーバリウム、アロマワックスサシェ、陶芸で茶碗、フラワーアレンジ、ランプシェード等を作りました。できた作品を飾って家がにぎやかになりました。またパンジーを種から育てる体験や、四阪島の近くに船で行ったり、自然探訪講座で新居浜の海や山、木々などを学習したり、遺跡を巡って解説を受けたり、松山リサイクル館等に行ったのも楽しかったです。

今期は、「おとなのマナー講座」で、リアンツールにてフランス料理のマナーや技法、実習もあって、とてもおいしくて、お得な体験ができました。また「私の好きな一文字」で小学生以来の習字をして、なかなかいい出来だったので家に飾っています。

毎年3月には新しい講座のお知らせがあり、何を受けようかと楽しみにしています。いつもたくさんの講座を開設、運営していただいているスタッフさんに感謝しています。これからもよろしくお願ひします。





## 講座カレンダー



予定のご確認を…

※警報や災害・講師の都合などで  
日程を変更することがあります。

日	曜	講座名	回	テーマ	時間	場所
4	水	新・雑談しま専科	9	骨盤底筋を鍛えて 尿漏れ予防！食事で快便！	14:00	生涯学習センター研修室
6	金	M・市外の文化財	1	文化財を訪ねて（市外編）	9:00	現地・その他
13	金	健康いきいきライフ	6	プロ伝授！一生自分らしくいる ための簡単筋トレ	13:30	ふれあい多目的アリーナ
18	水	◎懐かしの心の唄講座	8	童謡、唱歌、ラジオ歌謡など時 代が生んだ懐かしい歌を唄う⑧	10:00	文セン別館中ホール
		人生百年 健康に生き 抜くための医学講座	8	膝の痛みについて	14:00	文セン別館視聴覚教室

※◎がついている講座は聴講可能講座です。

### 《聴講の申込み方法について》

- ・講座 3日前までに生涯学習センターに電話（33-2991）し、予約してください。
- ・先着順になります。なお、定員を超えた場合はお断りすることがあります。
- ・聴講券は 1枚 300円です。
- ・申込時間 平日 8:30～17:15

### 《令和8年度講座申し込みについて》

今年度の講座数も残り少なくなってきました。

令和8年度講座冊子も今、作成中です。

3月1日（日）から各公民館・市役所等に申し込み冊子がありますので、

ご確認の上、忘れずにお申し込みください。

